

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和6年1月10日

団体名 綾部もみじまつり実行委員会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	観光振興事業 海の京都重点エリアである中心市街地の観光と商業活性化につながる取り組みを行う。
事業の名称	綾部もみじまつり
事業費 （市補助金）	1,057,105円 (500,000円)
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	ライトアップ設営費、音楽祭開催費、広報費、警備費、会議費 その他イベント開催にかかる費用
事業実施期日	令和5年11月17日～令和5年11月19日
事業実施場所	大本本部（綾部市本宮町1番地）
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	<p>天気 17日晴れ 18日小雨 19日晴れ</p> <p>集客数 計4,000人</p> <p>ライトアップ 17日～19日</p> <p>竹行灯 17日～19日</p> <p>お茶席（野点） 18日～19日</p> <p>箏演奏 18日～19日 適宜開催</p> <p>屋台 18日8店舗、19日9店舗</p> <p>神苑めぐり 18日・19日 60名</p> <p>音楽祭 18日1回、19日2回 計3回開催</p>
補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	<p>令和5年5月よりコロナが「5類感染症」へ移行してから初の開催となった。18日（土）は、雹を伴う雨模様により来場者は少なかったものの、19日（日）には小春日和の中、多くの来場者で会場は賑わい、市内外からの多くの入込客により、まちの賑わいを創出することに繋がった。また今年度からの試みとして、大本神苑内の駐車場を有料化（一台あたり500円）。二日間の合計で260台13万円の収入があり、テントなどの設備投資や財務基盤の強化につながった。</p> <p>広報活動としては、チラシや新聞広告、のぼり、横断幕のほか、ラジオ出演や京都新聞での記事掲載などのPRにより京都方面の来場者を募ることができた。</p>

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和6年1月10日

団体名 綾部もみじまつり実行委員会

（単位 円）

	区 分	予算額	収入済額	明 細
	収 入 の 部	市補助金	500,000	500,000
協賛金		376,000	356,000	商工会議所、大本、 商店街他
事業収入		50,000	20,000	屋台出店料
雑収入		94,000	178,335	市民からの協力 金・駐車場収入他
繰越金		160,000	253,487	前年度繰越
	合 計	1,180,000	1,307,822	
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	支 出 の 部	広報費	380,000	103,460
事業費		700,000	770,056	会場設営、警備、 照明、音楽祭等
事務費		100,000	183,589	印刷、通信運搬費、 消耗品、看板等
	合 計	1,180,000	1,057,105	
差	引	0	250,717	